

令和5年 第10回

君津市教育委員会会議録

日時：令和5年10月24日（火）午後3時00分

場所：5階大会議室

令和5年第10回君津市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年10月24日(火) 午後3時00分開会 午後3時45分閉会
- 2 場 所 5階大会議室
- 3 出席者 教育長 粕谷哲也
委員 佐藤 薫、増田亜紀
- 4 出席職員 教育部長 丸 博幸 教育部次長(事)教育総務課長 茂木 一也
生涯学習文化課長 塚越 直美 (事務局)教育総務課副課長 岡本 忠大
- 5 傍聴人 1名
- 6 会議日程 日程第1 前回会議録の承認について
日程第2 教育長報告について
日程第3 報告第 1 号 専決処分(後援関係)の報告について
報告第 2 号 上総小櫃中学校区コミュニティ・スクールの進捗状況について
報告第 3 号 重要無形文化財の指定及び保持者(人間国宝)の認定について

粕谷教育長

ただいまの出席者は3名で、定足数に達しておりますので、これより、令和5年第10回君津市教育委員会会議を開催します。

粕谷教育長

本日は傍聴者の申し入れが1名ありましたので、これを許可いたしました。ご了承願います。

粕谷教育長

日程第1 前回会議録の承認について、を議題といたします。

事前にご確認をいただいておりますが、各委員から何かお気づきの点はございますか。

粕谷教育長

ご意見等も無いようでございますので、採決を行います。前回会議録の承認について、賛成の委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

粕谷教育長

挙手全員。会議録につきましては、承認されました。

粕谷教育長

日程第2 教育長報告について、10月に出席した行事及び出席予定の行事についてご報告いたします。

まず、文化祭についてです。7日は上総公民館亀山分館と亀山コミュニティセンター共催による第20回亀山ふるさと祭りを見学いたしました。懐かしい真空管アンプによる音楽鑑賞会、踊りや合唱の発表や、スポーツ「ペタンク」体験、てづくりおもちゃを作る子どもチャレンジなど、地域のみなさんの温もりを感じるイベントでした。22日には上総地区文化祭を見学いたしました。「つながる ひろがる 上総の文化」をテーマに、舞台発表や展示などが華やかに繰り広げられました。今回の特別企画は「久留里水めぐりマップ」の原画展でした。「久留里ええもん市」で配布される「久留里水めぐりマップ」を飾る、ふるさとの名水を描いた素敵な原画展でした。この後、28日、29日には周南、小糸、小櫃公民館でそれぞれ文化祭が開催されます。

2点目は、きみつ母と女性教職員の会についてです。きみつ母と女性教職員の会につきましては、子どもたちの幸せを願い、子どもたちの環境を守るため、1974年に結成され、今年で50周年を迎えたところでございます。14日に開催された第50回記念大会では、「きみつ少年少女合唱団」の発表や、テレビでも活躍されている「育児漫画家・イラストレーター高野 優氏」による講演がございました。会では、毎年、各中学校区を中心に、市への要望をとりまとめる取組を継続いただいております。今年度は、通学路の安全確保と整備に努めること、公園での安全安心な環境整備に努めること、学校設備の整備・充実に努めることの3点の要望をいただいたところでございます。

市といたしまして、今後も会の皆様と連携し、子どもたちが安全・安心で充実した学校生活を過ごせるよう取り組んでまいります。

3点目は、新米贈呈式についてです。贈呈式では、君津市認定農業者協議会から、君津市内の学校給食1日分として460kgのお米を贈呈していただいたところでございます。この贈呈式は、協議会が市内の全小中学校の児童、生徒に美味しい新米を食べていただき、子どもたちに農業への関心を持ってもらいたいとの思いから、毎年、行っているものであり、そのお米は、協議会が主催する農業体験において、小糸小学校の5年生の児童が収穫したコシヒカリでございます。贈呈式では、小糸小学校児童代表2名が参加し、田植えや稲刈りの農業体験の感想の発表がございました。

最後に、学校における、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの発生状況でございます。本市においては、今月、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖はございませんが、インフルエンザ感染症による学校閉鎖を行った学校がありました。これから、本格的な冬に向け、適切な感染症対策を講じ、教育活動が円滑に進められるよう努めてまいります。

粕谷教育長

ご質問等、ございますか。

増田委員

インフルエンザについてですけれども、上総小櫃中学校で修学旅行に行けなかった子どもたちが結構いたと聞いたのですが、その他にも中止になった行事等はあるのでしょうか

粕谷教育長

まず先に閉鎖の状況をお伝えさせていただきます。現在までに学校閉鎖は1校、周西中学校でありました。

現在は上総小櫃中学校、小櫃小学校、周西中学校が学年閉鎖、学級閉鎖になっております。市内はそのような状況で、特に地域が偏って発生しているものではないようです。

実際にインフルエンザの集団発生による行事への影響ですけれども、秋以降になります。が中学校の修学旅行で2校。まず八重原中学校になりますが、現地で発症して、その夜に保護者に連絡をして京都まで迎えに来ていただきお帰りになされました。他の生徒と一緒に帰すわけには行きませんので、そのような対応をしたという報告を受けております。上総小櫃中学校においては、出発前に大変多くの発症者が出まして、20名が欠席し修学旅行に行くことができませんでした。延期をしますとキャンセル料が発生したり、新たな業務が発生したりということで今回は延期をせずに20名は参加できませんでした。が強行せざるを得なかったということです。保護者の方々にはいろいろな考え方がありますが、事前に校長先生が4月からいねいに説明をしておりましたので、それほど大きな批判や反対の声はあがっていないと聞いております。また上総小櫃中学校についても現地で2名が発症しまして、こちらも保護者が関西まで迎えに来ていただいたという報告を受けております。なお、迎えに来る費用は保険の範囲内ということで実際にかかった高速道路代やガソリン代等については保険適用と聞いております。

今までにないインフルエンザが与えた修学旅行への影響でありますので、学校も対応に苦慮したようですが、何とか無事に終了したと聞いております。

以上が概要であります。

佐藤委員

お迎えに来られた保護者の費用は保険適用とおっしゃっていましたが、行けなかった生徒たちの旅費も保険で賄われたのですか。

粕谷教育長

そこにつきましては、コロナとの時と違いまして、通常のキャンセル料が発生したと聞いております。直前の場合は40%かかるようです。7万円超の金額ですので、そこからの40%引いた金額が戻ってきますけれども、残念ながらキャンセル料として支払いざるを得ないと聞いております。

コロナの時ですとキャンセル保険のようなものがあつたのですが、現在はなくなりましたので、保護者へ負担をかけてしまったという状況です。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、日程第3議事に入ります。

本日の案件は、報告3件でございます。

粕谷教育長

はじめに、報告第1号 専決処分（後援関係）の報告について、を議題といたします。報告第1号について、事務局の説明をお願いします。

茂木次長

報告第1号 専決処分（後援関係）の報告について、ご説明いたします。

9月の教育委員会会議にて報告させていただいた以降に、専決処分し、後援を承認した行事について報告

いたします。案件は6件ございますが、このうちの1件について説明いたします。10月5日に承認した「房総フェスタ in 君津」は、「音楽と食でつながる君津の輪」をテーマに、老若男女問わず楽しめる、君津市の新たな大規模イベントの開拓を目的として、令和5年11月3日（金・祝）に、内みのお運動公園にて開催されるものです。

その他5件につきましても、行事の後援に関する規程に基づき、後援を承認し、君津市教育委員会行政組織規則第8条第1項第7号の規定により、専決処分をしたので、同条第2項の規定により報告するものです。

以上でございます。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

質問等も無いようでございますので、次に、報告第2号 上総小櫃中学校区コミュニティ・スクールの進捗状況について、を議題といたします。報告第2号について、事務局の説明をお願いします。

塚越生涯学習文化課長

報告第2号 上総小櫃中学校区コミュニティ・スクールの進捗状況についてご報告いたします。

9月に4地区で住民向けの説明会を実施いたしました。参加は少人数でしたが、その中で様々なご意見をいただきました。一つ目は、コミュニティ・スクールへの期待、小中学校を拠点に子どもと大人、地域間の交流の場づくりを進めることで、子ども達と地域のかかわりを取り戻すことや、各地区の融和を図ることにつながるのではないかと。二つ目は、コミュニティ・スクールへの疑問、意見等、学校統合の際には、地域への十分な説明の機会がもたれなかった。地域とともにある学校づくりは重要なテーマであるため、教育委員会全体でかかわる体制を整え、地域の理解を得ながら実施してほしい、というご意見がありました。

次に、上総小櫃中学校区コミュニティ・スクール推進委員会についてですが、学校運営協議会の仕組みづくりや運営等に関する検討を行うため、小櫃・上総・松丘・亀山地区の住民及び学校長、公民館長17名で組織する推進委員会を10月10日に立ち上げ、第1回会議を実施しました。会議の中での意見は、学校の現状や学校と各地域でこれまで取り組んできた活動の整理が必要ではないか。また、子どもや保護者はそれほど「地区」を問題と捉えておらず、そこにこだわりを持っているのは高齢者世代ではないかと考えている。これからは小櫃から亀山まで一つの地域として捉えることが重要で、コミュニティ・スクールを通じて、地域の捉え方を変えていけるような取り組みにつながると良い、と意見をいただきました。

今後は、推進委員会を3月まで3回ほど予定しております。推進委員の皆さまから意見をいただきながら、令和6年4月に学校運営協議会を立ち上げる予定となっております。

以上、報告いたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

佐藤委員

説明会の参加者数を見ると、4名とか6名とかで本当に少人数で、せっかくこんなに説明してくださっているのに残念だという思いなのですが、保護者世代の参加がほとんどなかったということですが、参加者の年齢層とか、どのような立場の方たちの参加だったのか、分かれば教えてください。

塚越生涯学習文化課長

今回、お集まりいただいた方は、ほぼ60歳代以上の方がほとんどだったかと思います。やはり地元の役員をしている方等が集まったと思っているところです。事前にチラシ等も自治会回覧で配布したり、お声かけしたりした結果なのですが、やはりこの人数ですので、もう少しコミュニティ・スクールについて、みなさんに説明したいということで、公民館を通じて何か地域で集まる場合がある場合、また学校にはPTAの役員会などがある時にお時間をいただければということで、今後各地域の方に説明に行きたいと考えております。今予定されているのが小櫃地区の民生委員の会議でぜひ説明していただきたいというご要望いただいておりますので、そちらを皮切りに地区の方、やはり保護者に聞いてもらいたいと考えておりますので、これからも説明を続けて行きたいと考えております。

増田委員

保護者世代の参加が少ないということでしたが、やはりコミュニティ・スクール自体をあまりよく知らないような感じなので、今後何年後かにこのコミュニティ・スクールが出来上がっていくと、今の保護者世代の方たちが主に関わってくると思うので、その世代の方たちにももう少し知っていただく方法というのがあるといいと思います。

塚越生涯学習文化課長

今回周知が十分ではなかったということも反省しております。委員のおっしゃるとおり、今の保護者や今後小中学校に通われる保護者に聞いていただき、知っていただくことは重要だと思っておりますので学校にも引き続き働きかけて多くの方に機会を設けて説明を続けてまいりたいと思っております。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、報告第3号 重要無形文化財の指定及び保持者（人間国宝）の認定について、を議題といたします。報告第3号について、事務局の説明をお願いします。

塚越生涯学習文化課長

報告第3号 重要無形文化財の指定及び保持者（人間国宝）の認定についてご報告いたします。

国は、令和5年10月18日付け文部科学省告示第119号により、長板中形を重要無形文化財に指定し、市内滝原在住の松原伸生さんを、その保持者として、認定しました。これを受け、千葉県では20年ぶり、君津市では初となる人間国宝が誕生いたしました。

9月の教育委員会会議でご報告いたしました。松原さんの継承する技術や作品を広く紹介すべく、生涯学習文化課と君津市立久留里城址資料館とで連携し、講演会や企画展を開催いたします。机上に今回の企画展のチラシを置かせていただきましたので、詳細はご確認ください。

また、今回人間国宝に認定されたことに伴い、君津市では広く市民に明るい希望を与えると共に君津市の名を高め、また広めることに顕著な功績があったとして松原伸生さんに対して君津市民栄誉賞を贈呈するこ

となりました。この君津市民栄誉賞の贈呈式を11月18日（土）に予定されている講演会の冒頭に贈呈式を行う予定であります。

以上、報告いたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

佐藤委員

資料に期間中展示会を行うということで、前期、後期となっておりますが展示される作品が新しいものと入れ替わるということですか

塚越生涯学習文化課長

着物の反物の展示替えを数点させていただくということになっておりますので、もしよろしければ、前期、後期と両方に足を運んでいただけるとありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

粕谷教育長

企画展の関連行事として委員のみなさんにもご出席いただきたいところですが、リーフレットの関連行事の項目についてももう少し説明してもらっていいですか。

塚越生涯学習文化課長

この企画展の関連行事は久留里城址資料館で1つは11月23日に午前と午後1回ずつ松原伸生さんご本人による糊置きの実演とギャラリートークということを実施する予定です。こちらは、久留里城址資料館2階の展示室を使って行いますので広さの関係で各回の定員20名ということで、先着順で申し込みいただき松原さんの実演とお話しさせていただくところを11月23日に実施を予定しております

また展示の解説会ということで12月2日（土）と12月10日（日）にこちらも午前と午後1回ずつ、こちらは松原さんではなく関係者による解説で、松原さんのお弟子さん、また久留里城址資料館の学芸員が説明するということが予定されております。こちらも各回20名という先着順の申し込みということになっております。先着順ですので、もしご参加いただけるようであれば11月1日から申し込みが始まりますのでよろしくお願いいたします。

粕谷教育長

教育委員枠はないですか。

塚越生涯学習文化課長

場所的なこともありますので、もう少し広いところであればいいのですが、今回は申し訳ございません。

粕谷教育長

もしご都合がつけば11月1日から電話等で申し込みが始まりますのでよろしくお願いいたします。それからもう1点、11月18日に講演会があり、先ほどの話で市民栄誉賞の授与式があるということですが、こち

らについては委員の出席等はどうなるのでしょうか。

塚越生涯学習文化課長

もし事前にお話をいただければ、席の用意はできると考えております。定員も余裕を持たせているので、こちらで席の用意をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

粕谷教育長

とてもお話が上手な方ですから興味深い話が聞けるのではないかと思います。よろしければお願いします。それから、この反物と着物は市で購入したりするのですか。

塚越生涯学習文化課長

検討しているところでありまして、市としては、その方向で考えております。

粕谷教育長

市としては、かなりの値段だと思いますが、購入できたらいいと思います。

佐藤委員

松原さんは亀山にお住まいで、坂畑小でこの方のお子さんを教えたのですが、6年生の家庭科の時に使うクッションの布とか手拭いとかを、糊づけから、この藍染めをしてくださったこともあり、本当にとってもいい方ですので、とても楽しみにしております。

塚越生涯学習文化課長

補足させていただきます。先ほど11月23日に糊置きとギャラリートーク、各回の定員20名ということでお話ししたのですが、この日に1階の会議室で実演のライブ配信をする予定でおりますので、直に見ることはできないのですが、会議室でも見るような対応を取りますので、よろしくお願いします。

粕谷教育長

現地では生ではないけれども、別室でライブ映像が見ることができるということです。

粕谷教育長

本日の議案はすべて終了いたしました。その他、委員の皆さん又は事務局から何かございますか。

佐藤委員

この10月から週1回、きみつメイトでお世話になっていて、今年に入って入級希望者が多くなったと聞いたのですが、市全体としての長欠者数の推移等が分かるようでしたら、長欠者も増えていて通級者も増えているのか知りたいです。

それから指導員が、今の人数より子どもたちが増えるとても大変な状況であり、実際に人数が増えたので今年度途中から予算を組んでいただき指導員を増やしていただいたのは非常にありがたいと思います。さらに来年度に向けて増員の予算を組んでいただいて、せっかく家を出て外と触れあうことができる機会が設

けられるのならば、少しでも長い時間、きみつメイトに通って欲しいと思いますので、ぜひ指導員の増員を考えていただきたいと思います。お願いします。

粕谷教育長

私からは、最初に本市内における児童生徒における長欠者数ですが、4市で校長会議がございまして、その資料からお伝えしたいと思います。まず小学校については令和3年度から4年度までの経緯、9月末現在までの長欠者数が出ていますのでお伝えいたします。まず今年度の9月末現在は小学校44名、4年度は31名、3年度が19名ということで、子どもの数は減っているにも関わらず小学校においても顕著な増加傾向にあるという状況です。中学校につきましては、今年度の9月末現在90名、4年度は68名、3年度は44名ということで、長欠率で言いますと中学校は、3年度は2.4%だったものが現在は5.3%まで高くなってしまっているという非常に厳しい状況です。

これは全国的、全県的な傾向ではありますが、その事由としましては、コロナが始まってからの傾向なのですが、無気力、不安、これが著しく割合が高まっているということで、特別にこれという理由がないという子どもが増えているということで、なかなか手が打てないという状況です。その中でお話がありましたように一歩家から出てきみつメイトに通級する子どもたちが増えるということは、ある意味好ましいことでもありますので、そちらでお勤めいただいている指導員のお力が、また学校復帰も叶えてくださっていますので、非常にありがたいと思っております。また学校の中での教育支援、教室を設置して、中学校においてですけれども、それぞれ学校独自にできるだけ教室に子どもたちの気持ちが向くような手立てを取ってくれているところもあるということも報告させていただきます。

そして、指導員につきましては、ただいまお話がありましたように今年度急遽、佐藤委員に入っていて教育支援センターそのものも非常に助かっていると聞いております。今後も、と申し上げたいところですけれども来年度の予算要望については部長、次長からお話をさせていただきたいと思います。

丸部長

子どもたちに接する機会を増やすということで指導員もそうですし、それからサポートティーチャー、サポートスタッフというところで働いていただいた中で、直接子どもたちに接していただくことと、それによって先生方の余裕もできるということで、先生方が児童生徒たちにより多く関われるという体制を築いていておりますので、来年度につきましても予算要求の段階ですけれどもサポートスタッフの増員を要望していきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

粕谷教育長

佐藤委員からの質問に対してご回答でしたがよろしいでしょうか。他に何かございますか。

増田委員

上総小学校にポッチャのメダリストの廣瀬さんがお見えになっていて、上総小学校の教頭先生が給食の合間に良かったら覗いてみてくださいと声をかけていただき少し見学をさせていただいたのですが、上総小学校の他にも各学校を回る予定なのかどうかお聞きしたいです。

粕谷教育長

廣瀬さんとボッチャの事務所のスタッフが一緒にいるかと思います。それからお母様の車で移動することが多いと思いますので、3名くらいでいらっしやっていたのではないのでしょうか。

増田委員

子どもたちが楽しそうにやっているのを見て、なかなかメダリストの実技を見ることがないので、とてもいい経験だと思いました。これはどういった経緯で実施されたのか気になったのでお聞きしました。

丸部長

予算を取ってありますので、障害者スポーツということで、児童生徒には馴染みが薄いというところもありましたが、ここ最近のパラリンピック等で有名になって来ていますので、知る機会、触れあう機会を増やすために予算を取りながら、廣瀬さんのようなメダリストを呼んで、実演していただき交流しながら理解を深めるというような活動をしているところです。

粕谷教育長

年間全ての学校で実施するというところまでは行かないのですが、まず廣瀬さんご自身がお忙しいということと、かなりの費用がかかります。やはりその関係でどうしても数が限定的になります。数年に1回という感じでお招きをして実施しているという状況であります。

粕谷教育長

その他に何かございますか。無いようでございますので、私から1つお聞きしてよろしいですか。来年の話になりますが20歳のつどいについてのスケジュールは、みなさんにお伝えしてありますか。それからご出席をいただくかどうか、それらの原案がすでにあるならば、お聞かせください。

塚越生涯学習文化課長

申し訳ございません。次回の会議でお話しさせていただこうと思っておりました。来年の1月7日（日）に20歳のつどいを行う予定でありますので、例年お願いしておりますが、教育委員のみなさんにも、またぜひご参加いただければと考えております。概要については次回詳しい話ができると思いますのでよろしくお願い致します。

粕谷教育長

それから、市内音楽会について、昨年、佐藤委員、増田委員は行かれていますかと思いますが、こちらの日程は、11月15日（水）です。午前が小学校、午後が中学校になっておりますので、もしご都合が付けばということでご案内をさせていただきます。

粕谷教育長

他に無ければ、以上をもちまして令和5年第10回君津市教育委員会会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、事実と相違ないことを証するため署名する。

令和5年11月13日

君津市教育委員会教育長 粕谷哲也